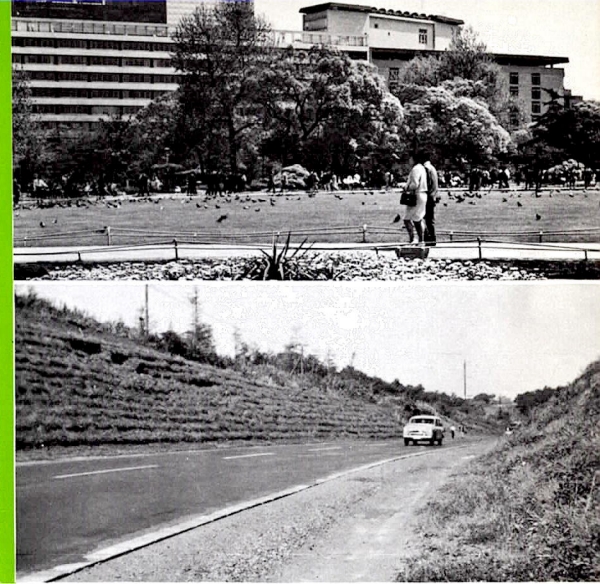


西洋芝生

法面緑化用草



種 類	主 な 特 性	草 丈	草 勢	年 限	土壌条件の適否					適 地	播 種 期	播 種 量 100㎡当り (約30坪)	用 途	
					乾燥	湿润	日陰	寒地	暖地				芝 生 向	緑 化 向
ベントグラス ハイランド	代表的高級西洋芝生。早 く芝生となる。	センチ 20~30	下 繁 草	多年	○			○	○		春まき 寒地 4/下~5/下 暖地 3/下~5/中	キロ 1.0	庭園、ゴルフ 場、公園、 野球場	—
ケンタッキー ブルーグラス	寒地で広く利用。高級芝生。	30~50	〃	〃				○	○		秋まき 寒地 8/中~9/上 暖地 8/下~10/下	1.0	〃	—
ケンタッキーブルー グラス メリオン	より微密で病気に強い高級 芝生。	30~40	〃	〃				○	○			1.0	〃	—
クリーピング レッドフェスク	ほふく茎で生育。やや草質 粗いが耐暑耐寒性強い。	30~50	〃	〃	○		○	○	○			1.5	飛行場、馬 場など	道路、堤防、 造成地など の土壤保全
レ ッ ド ト ッ プ	不良土壌によい。やや粗剛 だが強健。斜面、荒地の被 覆が早くできる。	50~80	上 繁 草	〃	○	○	○	○	○			1.0	〃	〃
ケンタッキー 31フェスク	不良条件に耐える。草丈高 く芝生には向かない。土壌 保全に適する。	60~100	〃	〃	○	○	○	○	○			1.0	—	〃
ニアル ライグラス	葉はやや巾広いが生育旺盛。	40~50	中 繁 草	〃		○	○	○				2.0	一 般 芝 地 (短期造成)	造成地の緑 化
イタリアン ライグラス	初期生育極めて早く、寒さ に強い。緊急の緑化用。	60~100	上 繁 草	1~2 年		○	○	○	○			2~3	緊急の芝生 冬期のグリ ーン	—
白クローバ ニュージランド	草丈低く、刈込み不要。	10~20	ほ ふ く	多年	○	○		○	○			0.5~ 1.0	グラウンド、 工場、敷地 など	—
ウイーピング ラググラス	葉は細く長く、髪の毛のよ うになびく。耐暑耐寒性強 く、ヤセ地も良い。	60~150	叢 生	暖地 多年	○				○		春まき 暖地5~7 秋まき 暖地8~9	0.5~ 1.0	—	傾斜地の土 壌保全
バーミューダグラス	暑さや日照に強い。草質が やや粗剛。草丈低く、ほふ く茎で速かにひろがる。	20~30	下 繁 草	〃	○				○			1.0~ 1.5	庭園、公園、 工場、敷地 など	傾斜地の土 壌保全、造 成地の緑化
バ ヒ ヤ グ ラ ス	〃	30~75	〃	〃	○				○			1.0~ 1.5	〃	〃



採草地



適期刈取りができましたか？

今年の1番草の収穫も殆んど終った頃でしょうが、全草地进行適期に刈取ることが出来たでしょうか。年々採草地の面積も増加し、労力、天候の関係もあって、たとえ機械導入を行っても僅々10日間ぐらいの適期中に収かく調製を完了するのは容易ではありません。これに対処する近道は、草種、品種の早晚性を上手に組合わせた早刈用、中刈用、晩刈用の三段階の草地进行造成して刈取適期の幅を1ヶ月ぐらいに拡大することです。

* 便利でお徳な混播用種子セット (25アール分1袋) で早、中、晩草地进行造成を

(秋まきの限界は8月中旬です)

■ 早刈用種子セット (年3~4回刈取用)

1 番刈適期 (道央、道南では5月上旬~6月上旬 道東、道北では6月上旬~6月中旬)	
オーチャードグラス (フロード)	2.5kg
チモシー (ホクオウ)	1.0
メドウフェスク (レトー)	1.5
赤クローバ (メジウム)	2.5
ルーサン (デュピュイ)	1.0
ラデノクローバ (カリフォルニア)	0.5
計(25アール分)	
	9.0

■ 中刈用種子セット (年3回刈取用)

1 番刈適期 (道央、道南では6月中旬 道東、道北では6月下旬)	
オーチャードグラス (ヘイキング)	2.5kg
チモシー (クライマックス)	1.5
メドウフェスク (レトー)	1.0
赤クローバ (ハミドリ)	2.5
アルサイククローバ (カナディアン)	1.0
ラデノクローバ (カリフォルニア)	0.5
計(25アール分)	
	9.0

■ 晩刈用種子セット (年2~3回刈取用)

1 番刈適期 (道央、道南では6月下旬 道東、道北では7月上、中旬)	
オーチャードグラス (フィロックス)	1.5kg
チモシー (オムニア)	2.5
メドウフェスク (タミスト又はレトー)	1.0
赤クローバ (アルタースウェード)	2.5
アルサイククローバ (テトラ)	1.0
白クローバ (ニュージーランド 又はミルカー)	0.5
計(25アール分)	
	9.0

チモシー・ホクオウ、

(北王) 新優良品種に決定

弊社上野幌育種場で育成したチモシー・ホクオウ、(北王) は数年前より道内、東北の公立試験機関8ヶ場所において検定中でしたが、各地で在来種に較べて10%以上もの多収性が認められ、本年1月の北海道農業試験会議、更に3月の北海道種苗審議会において新優良品種に決定されました。赤クローバ・ハミドリに次ぐ民間育成の牧草優良品種の第2弾です。

道内主要地帯での在来種(100として)とホクオウの収量比

根	鉋	111%
北	見	114
天	北	122
天	塩	117
北農試(月寒)		118

主要特性は●多収●早生●2.3番の再生早い●病害にも強い。



放牧地

専用放牧地の造成で能率的な放牧を！

初夏放牧地の草が伸び過ぎて余剰草の掃除刈りをしたり、夏秋にかけて放牧草が不足したり、不食過繁地があったりするの採草（刈取用）型の草種、品種で放牧地を造成していることも1因です。放牧地には放牧に適した専用の草種、品種を利用する事が放牧の能率向上に役立ちます。

■ 放牧地専用種子セット（1袋25アール分）

オーチャードグラス	（フィロックス）	2.5キロ
チモシー	（オムニア）	2.0
メドウフエスク	（タミスト、又はレトー）	1.5
ペレニアルライグラ	（マンモス）	1.5
ケンタッキーブルー	（ダニッシュ）	1.0
ラデノクローバ	（カリフォルニア）	1.0
白クローバ	（ニュージーランド） 又はミルカー	0.5
計（25アール分）		10.0

◎秋まき限界
8月上～中旬

夏まき1年緑肥としてイタリアンライを

〈晩秋草地としても貴重〉

7月下旬～8月上旬に播種したイタリアンライグラスは晩秋迄には60～70cmにも伸びます。

- 早生大豆や早生菜豆への間作緑肥（豆作を休まず緑肥を生産）
豆類の落葉期の30～40日前に畦間に10アール当り 2.5kgのイタリアン播種（8月上旬）した場合、地上部2,500kg、根部2,000kg 計 4,500kg前後の緑肥生産が行われます。

- えん麦への間作
えん麦の出穂初期（7月中旬）に畦間にイタリアンライ 2.0kg播種で晩秋には50cm以上の草丈となり、晩秋草地として利用出来ます。

- イタリアンライの品種はマンモスB
肥料は早目に追肥の形で、窒素を多目に。

夏作跡地へ紫丸かぶの移植

〈冬期多汁質根菜の確保〉

北海道における秋まきかぶの播種適期は7月一杯ですが、夏作の収かきが遅くなって仲々適期に播種が出来ず、結果として秋まきかぶは大して収量がないとされていましたが、紙筒育苗がこの困難を解決してくれます。

- 7月上、中旬に紙筒（ぺ2号）を利用し播種（10アール当10冊）
- 育苗期間 20～30日（本葉が出たら早目に間引き）
- 移植 タップリ肥料をやって8月上、中旬に移植
- 品種 道央、道南では小岩井かぶ又は紫丸かぶ、
其他の地方は紫丸かぶ
- 種子 10アール分として 50～60グラム